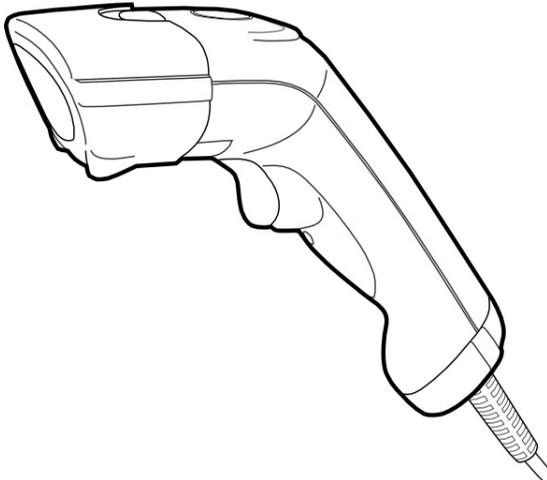


2次元バーコードリーダー CM-2D200K2B

取扱説明書

Ver.0



株式会社エイポック

www.a-poc.co.jp

- 製品の仕様および本書は改良のため予告無く変更される場合があります。
- 本書に記載されている他社製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁止します。

目次

取り扱い上の注意 必ずお読み下さい	3
改訂履歴	7
第1章 はじめに	8
第2章 セットアップ	9
第3章 使い方	10
第4章 メンテナンス	11
第5章 困ったときは	12
第6章 仕様	13
第7章 出荷時の初期設定表 / シンボル ID 表	15
第8章 設定とバーコードメニュー	21
・ 設定方法 / 出荷時の初期設定	21
・ USBインターフェースの設定	22
・ データ転送設定	24
・ 本体の動作設定	26
・ イメージャーの設定	32
・ バーコードの読み取り設定 / すべてのシンボルを読み取り禁止	35
・ バーコードの読み取り設定 1次元バーコード	36
・ バーコードの読み取り設定 2次元バーコード	54
・ バーコードの読み取り設定 郵便コード	58
・ マルチコードの設定	61
第9章 USB バーチャル COM の設定	67
第10章 サンプルバーコード	71
第11章 保証と修理	75
付録 A GS1 Databar 及び GS-128 の編集	77
付録 B JIS X0515 (ISO 15394) 出荷,輸送及び荷受用ラベルのための一次元シンボル及び 二次元シンボル の編集	91

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取り扱い上の注意 必ずお読み下さい

ここには、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。

本製品を正しく使用するために、必ずお読みになり内容をご理解いただいた上でご使用ください。

本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

警告表示の意味

 危険	絶対に行ってはいけない事項。この表示の注意を守らないと、使用者が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じる恐れがあります。
 警告	厳重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。
 注意	安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。

絵記号の意味

 警告	この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
 注意	この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。



危険



本製品を火の中、電子レンジ、オープンや高圧容器に入れないで下さい。また、本製品を加熱したりしないで下さい。

破裂、発火や火傷の原因となります。



本製品から漏れ出た液が目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けて下さい。

目に障害を与える恐れがあります。



本製品の充電には、必ず本製品付属の接続ケーブルまたは本製品専用の充電アダプタを使用してください。



プラグ、ジャックの端子をショートさせないで下さい。

発熱、破裂、発火や火傷の原因となります。特にコインやヘヤピンなどの金属製品と一緒に携帯・保管しないで下さい。



直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の近くで使用または放置をしないで下さい。

破裂、発火や火傷の原因となります。



本製品の分解・改造・修理を自分でしないで下さい。

発熱、破裂、発火、火傷や感電の原因となります。また、許可なく本製品のシールやカバーをはずした場合、修理をお断りする場合があります。



警告



本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



液体や異物などが内部に入ったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。与えてしまったら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをオフにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使い続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社または販売店にお問合せ下さい。



接続ケーブルは、必ず付属品（または指定品）をご使用下さい。

付属品（または指定品）以外を使用すると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。この場合、発煙や発火の恐れがあります。本製品の故障の原因にもなります。



読み取り窓から出る赤い光を直接目でのごき込まないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



読み取り窓から出る赤い光を人の目に向けしないで下さい。

目がくらんだり、目に障害を与える恐れがあります。



風呂場など、水分や湿気の多い場所では、本製品を使用しないで下さい。
火災になったり、感電する恐れがあります。



濡れた手で本製品に触れないで下さい。
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがコンセントに接続されているときは、感電の原因になります。また、コンセントに接続されていなくとも故障の原因になります。



小さなお子様が電気製品を使用する場合は、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導の下で行うようにして下さい。



プラグ、ジャックの周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でふき取ってください。
そのまま使い続けると、火災、感電の原因となります。



注意



パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各説明書をよく読んで、各メーカーが決める手順に従ってください。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにして下さい。人体からの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損される恐れがあります。



本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスクなど）のデータをすべて CD-ROM など外部の記憶装置にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。



次の場所には設置しないで下さい。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・ 強い磁界が発生するところ
- ・ 静電気が発生するところ
- ・ 温度、湿度が製品の説明書が定めた使用環境を超えるところ、または結露するところ
→故障の原因となります
- ・ 振動が発生するところ
→けが、故障、破損の原因となります
- ・ 平らでないところ
→転倒したり、落下したりしてけがや故障の原因となります
- ・ 直射日光が当たるところ
火気の周辺、または熱気のあるところ
→故障や変形の原因となります
- ・ 漏電または漏水のあるところ
→故障や感電の原因となります



シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないで下さい。製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。



本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って下さい。
条例については、各地地方自治体にお問い合わせ下さい。

**法令準拠と注意**

この装置は FCC 規制パート 15 に適合しています。この装置は次の 2 つの条件に従って動作するものとします。

- (1)本製品によって、有害な干渉が発生することはない。
- (2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。

本製品は FCC 規制のパート 15 に従い、クラス A デジタル機器の制限に適合するようにテスト済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。その場合には、ユーザー側の負担で次のような干渉防止措置を講じる必要があります。

- ・ 受信アンテナの位置や方向を変える
- ・ 装置と受信機の距離をとる
- ・ 装置と受信機を別の回路のコンセントに接続する
- ・ 経験のあるテレビ・ラジオの技術者に相談する

**ご利用上の注意**

- 本製品はすべての USB を用いた機器との接続動作を確認したものではありません。また、すべての USB を用いた機器との動作保証をするものではありません。ご使用にあたっては、USB を用いた機器の動作条件と接続の可否情報を各メーカーまたは取り扱い元にご確認ください。

**読み取らないバーコードの注意**

- 日本語データの 2 次元バーコード(QR Code など)は日本語で出力しません。
- 日本語データを出力するにはお客様にてシリアル通信(RS-232)の開発やシステムが必要です。
- 白黒反転した GS1 データバーは読み取りません。

改訂履歴

Version A~L	誤記修正、加筆
Version M	2016 年 3 月下旬出荷分より QR Code について仕様変更。QR Code の設定説明を改訂。
Version N	修正：第 8 章 キャラクタ間の遅延時間の説明を修正 追加：第 8 章 データ間の遅延時間の設定を追加
Version O	追加：第 8 章 マルチコードの読み取りブザーを追加 修正：第 9 章 USB バーチャル COM の設定に加筆修正

本書について

本書では、2次元バーコードリーダーCM-2D200K2Bのセットアップ、操作、設定方法について一般的な情報を説明します。

製品概要

CM-2D200K2B（以下、スキャナ、または本製品）は2次元バーコードおよび1次元バーコードの読み取りおよび入力装置です。

本製品とパソコンをUSBケーブルで接続し、読み取ったバーコードデータをパソコンに転送・入力することができます。

製品の主な特徴

- ボタンを押すだけの簡単な操作で、バーコードの読み取りが可能
- 1次元バーコード、2次元バーコード、郵便コードの読み取りに対応
- 瞬時にバーコード読み取る高性能イメージャー(光学エンジン)を搭載
- 小型・軽量で使いやすいデザイン
- 丈夫で長持ちする設計
- USB HID キーボードインターフェース対応（USB バーチャル COM も対応）

付属品の確認

付属品がすべてそろっていることを確認してください。

- CM-2D200K2B(スキャナ本体) かんたんガイド
専用 USB ケーブル

- 本書の印刷物は付属していません。ホームページからのダウンロードでの提供となります。
- 万一、不足しているものがありましたら弊社または販売店にお問い合わせ下さい。

オプション

別売品です。

- H-030(ハンドフリースタンド)

必要な機器

本製品の動作に必要な機器です。別途ご用意ください。

コンピュータ	PC/AT 互換機
システム	Windows 10, Windows 8, Windows 7, Windows XP
入力端子	USB1.1/2.0 以上

- すべての環境での動作を保証するものではありませんのでご注意ください。

第2章 セットアップ

製品の取り出し

箱から製品を取り出したら、次のことを確認して下さい。

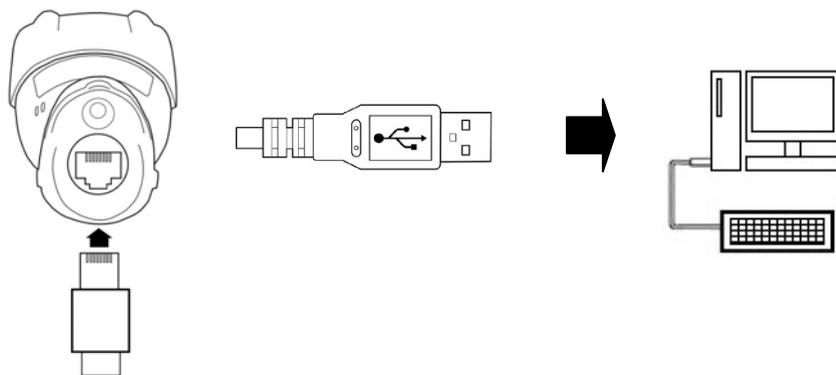
- ・ 製品に破損が無いことを確認する。破損があった場合はすみやかに弊社までお知らせ下さい。
- ・ 不足しているものがないか確認する。
- ・ 保管や返送時のために、箱は保管する。

セットアップ

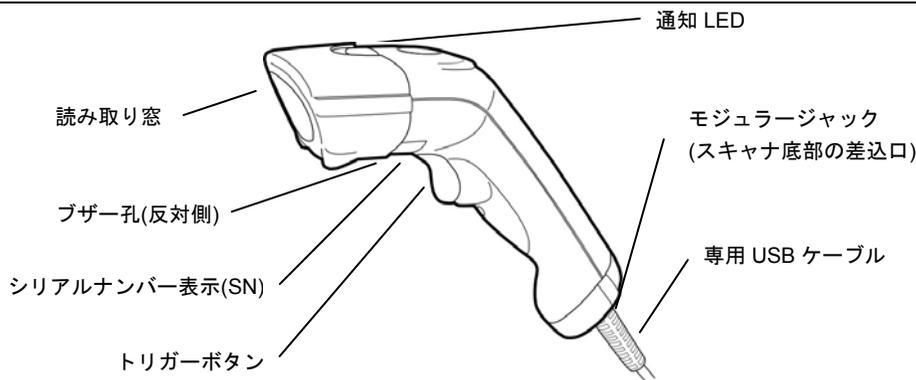
■スキャナのセットアップ

- 1) スキャナ底部のケーブルジャックに専用 USB ケーブルのモジュラーコネクタを接続して下さい。
- 2) パソコンの USB ポートに本製品の USB ケーブルを接続して下さい。パソコンが自動でドライバをインストールしセットアップが完了します。

(注意)パソコン本体の USB に接続してください。USB ハブは動作しない場合があります。



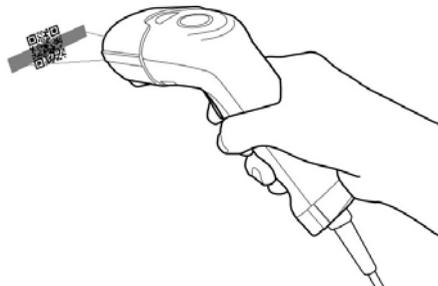
各部の名称



使い方

- 1) 「第2章 セットアップ」を読み、スキャナとパソコンを接続して下さい。
- 2) パソコンのソフトを立ち上げ、バーコードデータを入力する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 3) スキャナでバーコードの読み取りを開始して下さい。バーコードを読み取るごとにデータを転送します。「第10章 サンプルバーコード」などを読み取ってお試し下さい。

手持ちでのバーコード読み取り

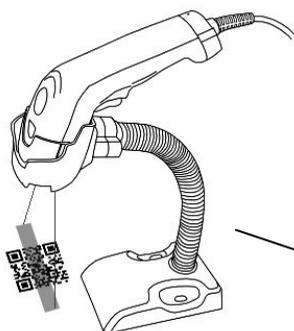


- 1) スキャナのトリガーボタンを押して下さい。
- 2) 読み取り窓から出るエイマー（水平の照準光）を、バーコードの左右からはみ出さずと読み取ります。



※エイマーはどの方向でも読み取りますが、1次元コードは水平なほうが読み取りやすいです。

ハンドフリースタンドでのバーコード読み取り



- 1) スキャナで本書 p26 トリガーモード「プレゼンテーション」のバーコードメニューを読み取り、設定変更して下さい。
- 2) スキャナをスタンドに乗せ、読み取り窓の前にバーコードをかざすと自動で読み取ります。

ハンドフリースタンド 型番:H-030 (別売品)
支柱を曲げてお好みの角度に変えてください

ブザーと通知 LED の意味

メロディーの後にブザー	電源オン
ブザーが1回鳴る	読み取り成功
ブザーが1回鳴る	設定バーコードメニューの読み取り
上昇メロディー/下降メロディー	設定開始/設定終了(一部の設定を行うとき)
通知 LED が1回点灯	読み取り成功

第4章 メンテナンス

本製品は特別なメンテナンスが不要ですが、定期的に清掃・点検を行うことで高い性能を保つことができます。

読み取り窓の清掃



ご注意



読み取り窓を清掃するときは、傷つけないようによく注意してください。

読み取り窓が傷つくと読み取り性能が低下します。

読み取り窓が汚れていると、バーコードの読み取り性能が低下するなどの影響が生じます。ほこりや汚れがついている場合は柔らかい布やティッシュを水または薄めた中性洗剤で湿らせて、よく絞ってから読み取り窓を拭いてください。

読み取り窓を拭くときは下記のことをお守り下さい。

- ・ 研磨剤を使ったり、研磨する布類を使ったりしない→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 有機溶剤を使用しない→窓が溶けて読み取らなくなります。
- ・ 強くこすらない→窓が傷つき読み取らなくなります。
- ・ 水やその他の液体を直接窓に吹きかけない→本製品は防水ではありません。液体が侵入し故障の原因になります。

ケーブルの点検

ケーブルが破損・故障していると、正常に動作しません。

定期的に応記のことを確認して下さい。

- ・ コネクタが破損・変形していないか確認する→コネクタが異常だと動作しなくなります。
- ・ ケーブルがねじれていたり、物が乗っていたり、挟まったりしていないか確認する。→ケーブルが断線し、動作しなくなります。

第5章 困ったときは

Q:QR Code、NW7、ITF、GS1 Databar、GS1 Composite を読み取りできない

A:読みたい種類のバーコードを「許可」(p36~)に設定して下さい

QR Code→p56、NW7→p36、ITF→p48、GS1 Dabar→p46、GS1Composite→p47

Q:1~4桁のNW7、2~6桁のITFを読み取りできない

A:「最短の読み取り桁数」の設定を変更して下さい

NW7→p36、ITF→p48

Q:データ中の+がに~なる、読み取りデータの記号が正しく入力しない

A:キーボードレイアウトを「日本キーボード」(p22)に設定して下さい

Q:データの後に出力するEnter(改行)をTabに変更したい

A:ポストアンプルを「Tab」(p24)に設定して下さい

Q:時々、読み取りデータの途中の文字が抜ける

A:キャラクタ間の遅延時間(p23)を設定して下さい。

Q:時々、Enter(改行)、Tab(タブ)や、データの先頭の文字が抜ける

A:データ間の遅延時間(p23)を設定して下さい。

Q:毎回、Enter(改行)の設定をしたが改行しない、データが横につながって出る

A:パソコンのタスクバーなどに「あ 般」と表示していたら「あ」をクリックし「直接入力」を設定して下さい。直接入力が無い場合は下記のように設定して下さい。※パソコンにより設定は異なります。

- ・ Windows 10/8のタスクバー「あ」「A」などを右クリック→[プロパティ] →[詳細設定]ボタン→[全般]タブ→[編集操作]→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーを右クリック→[直接入力]を選択する。
- ・ Windows / 7 IME (言語バー)の[ツール]アイコンをクリック→[プロパティ]→[編集操作]タブ→[直接入力を使用しない]のチェックを外す→[OK]→再度、言語バーを右クリック→[直接入力]を選択する。

または、スキャナの Caps Lock の設定を「ALT+テンキー」(p22)に設定してください。

Q:Excelに転送するとE+12などと表示する、最初の0が消える

A:Excel でデータを入力する列を選択→右クリック→セルの書式設定→表示形式→文字列→OK を設定してください

Q:読み取り窓から出る赤色光がまぶしい

A:照明 LED を「パワーセーブモード」(p33)に設定して下さい。明るさが抑えられます。(注)環境によっては読み取り率が低下する場合があります。

Q:2次元コードを読むと、パソコンソフトのウィンドウが勝手に開く、勝手な動作をする

A:下記の設定メニューを読み取って下さい。文字だけ入力するようになります。



設定内容:Data Editing Senario7 許可、全コードタイプと全桁を対象、RS,GS,EOT を Null に置換する
備考:EDI 用の ISO15434 のデータ構造になっている 2次元コードなどを読むときにこの症状が発生します。この設定で改善しない場合は、弊社にお問い合わせ下さい。

仕様表

読み取り 1次元バーコード	Codabar(NW7), Code 11, Code 39, Code 93 / 93i, Code 128, GS1-128, UPC-A, UPC-E, EAN-13, EAN-8, GS1 Databar(※1), Interleaved 2 of 5(ITF), Matrix 2 of 5, Standard 2 of 5(3 start / stop bars, 2 start / stop bars), MSI, Plessey, Telepen
読み取り 2次元バーコード	Aztec, Codablock A, Codablock F, Composite, Data Matrix, MaxiCode, PDF417, MicroPDF, QR Code, TLC39
読み取り郵便コード	Australian Post, BPO, Canada Post, Dutch Post, Infomail, Japanese Post, Planet, Postnet, Sweden Post
スキャンエンジン	受光: エリアイメージャー(752x480pix) 光源: 可視赤色 LED 650±10nm 分解能: 0.125mm(Code39), 0.191mm(DataMatrix) スキャン速度: 1次元エミュレーションモード: 200 スキャン/秒 2次元モード: 56 イメージ/秒(出荷時) 読取距離: 72-131mm(PCS0.9, 0.125mm, Code39) スキャン角度: 水平 38.9°, 垂直 25.4° PCS 値: 25%
電力	動作時: 350mA@3.3VDC
インターフェース	USB HID キーボード、USB バーチャル COM(※2) ケーブル長 1.8m
ボタン	1
通知	LED: 緑(正読)、ブザー(※3)
動作温度/湿度	-20℃～+50℃ / 5%-95%RH(結露なきこと)
外乱光	100,000lux
衝撃	1.2mの高さからコンクリート面に自然落下後、正常動作
重量	170g
法令等	FCC class A / CE / RoHS
動作確認 OS	Windows 10(32bit, 64bit), 8, 7, XP (※4)

※1: 白黒反転した GS1 データバーは読み取りません。

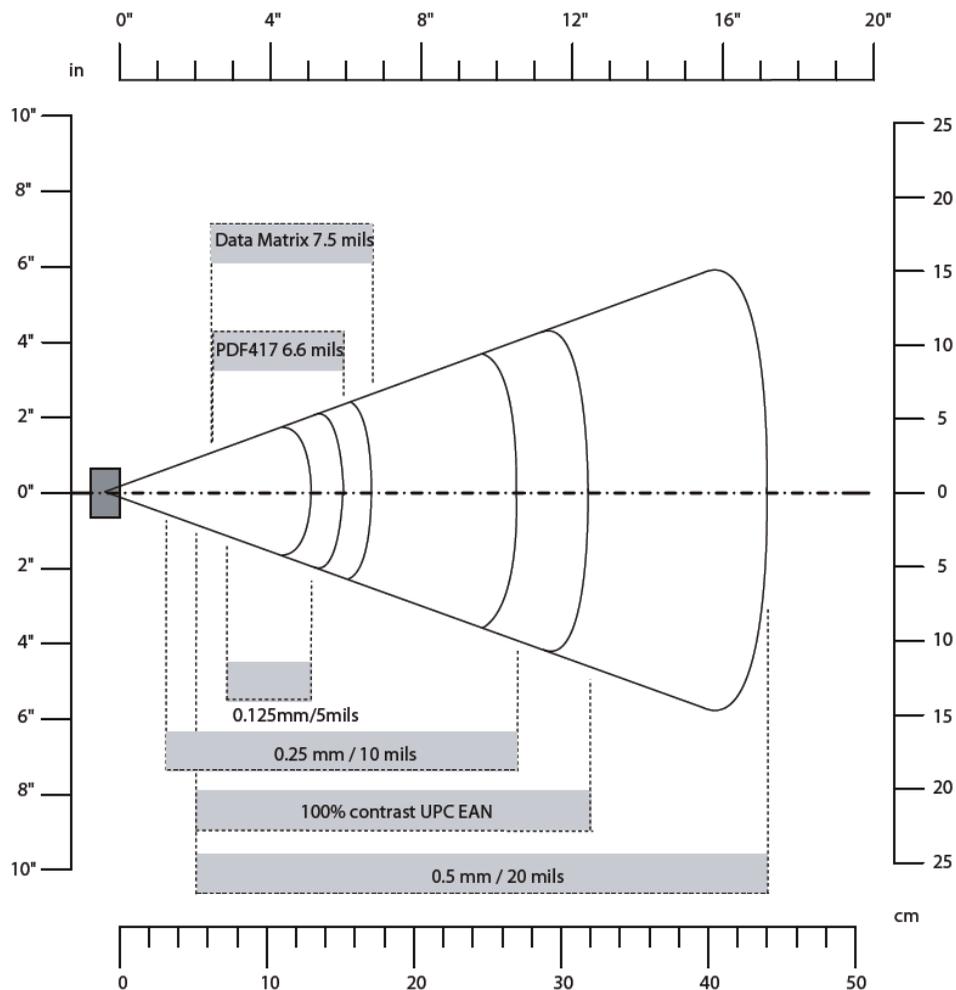
※2: USB バーチャル COM を使用するには、専用ドライバが必要です。

また、お客様にてシリアル通信 (RS-232) の技術・開発が必要です。

※3: ブザー音量の調節ができます。消音はしません。

※4: すべての機器との動作を保証するものではありません。

読み取り範囲



オフィス環境の明るさ(250lux)で計測した読み取り距離

シンボル	分解能	最短距離	最長距離
Code 39	0.125mm	7.2cm	13.1cm
	0.25mm	3.4cm	27cm
UPC / EAN / JAN	0.33mm	5cm	32cm
Data Matrix	0.191mm	6.3cm	17.2cm
	0.254mm	4.8cm	22cm
PDF417	0.16mm	6.2cm	15.4cm

注意：上記の距離はシンボルの大きさ、印刷品質、周囲の環境によって変わりますので保証されるものではありません。

第7章 出荷時の初期設定表 / シンボルID表

出荷時の初期設定表

USBインターフェースの設定	初期値	参照 ページ
キーボードレイアウト	英語キーボード	22
Caps Lock	オート	22
電源オン時のメロディーブザーの設定	許可	22
ブザー音量	10	23
キャラクタ間の遅延時間	0 (0msec)	23
データ間の遅延時間	0 (10msec)	23

データ転送設定	初期値	参照 ページ
プリアンブル	なし	24
ポストアンブル	Enter (CR LF)	24
シンボルID	なし	25

本体の動作設定	初期値	参照 ページ	
トリガーモード	レベル	26	
トリガータイムアウト	2秒	27	
読み取り後の消灯	許可	27	
エイマーモード	禁止	28	
エイマーモードの時間	500msec	28	
定義済みのセキュリティレベル	標準	29	
任意のセキュリティレベル	デコード時の一致回数	自動でカウント	30
	同一バーコードを読み取るまでの時間	300msec	30
センターデコーディングの使用	禁止	31	
センターデコーディングの範囲	0%	31	
バーコードシーケンス	1	31	

イメージャーの設定	初期値	参照 ページ	
定義済みのイメージャー設定	1Dコードと2Dコードを読み取る	32	
任意のイメージャー設定	エイマーの点滅	点滅する	33
	デコードモード	2Dイメージャー	33
	照明LED	常時オン	33
	照明レベル	100%	34

出荷時の初期設定表(続き)

バーコードの読み取り設定/1次元バーコード		初期値	参照 ページ
Codabar (NW7)	読み取り	禁止	36
	スタート/ストップキャラクタの転送	禁止	36
	チェックデジットの使用	禁止	36
	チェックデジットの転送	禁止	36
	最短の読み取り桁数	4桁以上	36
Code 11	読み取り	禁止	37
	チェックデジットの桁数	1桁	37
	チェックデジットの転送	許可	37
Code 39	読み取り	許可	38
	スタート/ストップキャラクタの転送	禁止	38
	チェックデジットの使用	禁止	38
	チェックデジットの転送	禁止	38
	Full ASCII Code39のフォーマット	禁止	38
Code 93 / 93i	読み取り	禁止	39
Code 128	読み取り	許可	40
GS1 128	読み取り	許可	40
	AIM ID JC1の転送	許可	40
	可変長AIのFNC1の置換	GS(1Dh)(注)F12キー	40
UPC-A	読み取り	許可	41
	チェックデジットの転送	許可	41
	ナンバーシステムの転送	許可	41
	UPC-AをEAN-13に変換	許可	41
UPC-E	読み取り	許可	42
	チェックデジットの転送	許可	42
	ナンバーシステムの転送	許可	42
	UPC-EをUPC-AIに変換	禁止	42
	UPC-E1の読み取り	禁止	42
EAN-13 / JAN-13	読み取り	許可	43
	チェックデジットの転送	許可	43
	ISBNに変換	禁止	43
EAN-8 / JAN-8	読み取り	許可	44
	チェックデジットの転送	許可	44
	EAN-13に変換	禁止	44

出荷時の初期設定表(続き)

バーコードの読み取り設定/1次元バーコード		初期値	参照 ページ
UPC/EAN/JANの オプション	アドオンの要求	アドオンの要求なし	45
	アドオンの桁数 2桁	禁止	45
	アドオンの桁数 5桁	禁止	45
	GTINフォーマットに変換 する	禁止	45
GS1 Databar (RSS)	Omni-directional読み取り	禁止	46
	Limited読み取り	禁止	46
	Expanded読み取り	禁止	46
GS1 Composite	CC-A/B読み取り	禁止	47
	CC-C読み取り	禁止	47
	Compositeのリンク	自動判別する	47
	Linearのみ転送	禁止	47
	AIM IDの除去	禁止	47
Interleaved 2 of 5 (ITF)	読み取り	禁止	48
	チェックデジットの使用	禁止	48
	チェックデジットの転送	禁止	48
	最短の読み取り桁数	6桁以上	48
Matrix 2 of 5	読み取り	禁止	49
	スタート/ストップキャラ クタの形式	レギュラー	49
Standard 2 of 5	読み取り	禁止	50
	フォーマット	Identicon	50
	チェックデジットの使用	禁止	50
	チェックデジットの転送	禁止	50
MSI	読み取り	禁止	51
	チェックデジットのタイプ	モジュラス10	51
	チェックデジットの転送	許可	51
Plessey	読み取り	禁止	52
	チェックデジットの転送	許可	52
Telepen	読み取り	禁止	53
	フォーマット	アスキー	53

出荷時の初期設定表(続き)

バーコードの読み取り設定/2次元バーコード		初期値	参照 ページ
Aztec	読み取り	禁止	54
Codablock A	読み取り	禁止	54
Codablock F	読み取り	禁止	54
Data Matrix	読み取り	許可	55
Maxi Code	読み取り	禁止	55
PDF417	PDF417 読み取り	許可	55
	Micro PDF417 読み取り	禁止	55
QR code	読み取り	許可 (注)2016年3月以前は禁止	56
	モデル1 読み取り	禁止	56
	白黒反転QR 読み取り	通常色のQRのみ読み取る	56
	Micro QR 読み取り	禁止	56
	連結QR 読み取り	禁止	56
TLC 39	読み取り	禁止	57
	Linearのみ転送	禁止	57
	チェックデジットの転送	禁止	57
	最短の読み取り桁数	6桁以上	57

注：以前の製品は初期設定(p21)をすると QR code の読み取りは初期値の「禁止」になります。

バーコードの読み取り設定/郵便コード		初期値	参照 ページ
Japan Post	読み取り	禁止	58
	チェックデジット転送	許可	58
Australian Post	読み取り	禁止	59
BPO	読み取り	禁止	59
	チェックデジット転送	許可	59
Canada Post	読み取り	禁止	59
Dutch Post	読み取り	禁止	59
Infomail	読み取り	禁止	60
Planet	読み取り	禁止	60
	チェックデジット転送	許可	60
Postnet	読み取り	禁止	60
	チェックデジット転送	許可	60
Sweden Post	読み取り	禁止	60

マルチコードの設定	初期値	参照 ページ
マルチコードの読み取り	禁止	61
マルチコードの数	2	62
マルチコードのセパレーター	<>	63
不完全なデータ転送	禁止	64
不完全なデータ転送のタイムアウト	0msec	64

シンボル ID 表

シンボル ID(p25)の対応表です。

1次元バーコード

バーコードシンボル	AIM ID	AIM ID修飾文字(x)	USDI	Code Mark
Codabar (NW-7)]Fx	0,1,2,4	B7	D
Code 11]Hx	0,1,3	C1	*
Code 39]Ax	0,1,3,4,5,7	B1	*
Code 93 / 93i]Gx	0,1-9, A-Z, a-m	B6	D
Code 128]Cx	0,1,2,4	B3	D
GS1-128]C1		C9	D
UPC-A]E0		A0	A
UPC-E]X0		E0	E
EAN-13]E0		F	F
EAN-8]E4		FF	FF
GS1 Databar Omni]e0		C3	*
GS1 Databar Limited]e0		C4	*
GS1 Databar Expanded]e0		C5	*
GS1 Composite CC-A/B]ex	0,1,2,3	G0	*
GS1 Composite CC-C]ex	0,1,2,3	G1	*
Interleaved 2 of 5]lx	0,1,3	B2	I
Matrix 2 of 5]X0		B4	D
Standard 2 of 5 (3 start / stop bars)]S0		B5	D
Standard 2 of 5 (2 start / stop bars)]Rx	0,1,3	B5	D
MSI]Mx	0,1	B8	D
Plessey]P0		C2	*
Telepen]Bx	0,1	C6	*

シンボル ID 表(続き)

シンボル ID(p25)の対応表です。

2次元バーコード

バーコードシンボル	AIM ID	AIM ID修飾文字(x)	USDI	Code Mark
Aztec]z0		D3	*
Codablock A]Ox	6	K0	*
Codablock F]Ox	4,5	K1	*
Data Matrix]d1		D0	*
MaxiCode]Ux	0,1	D2	*
PDF417]Lx	0	C7	*
MicroPDF417]Lx	3,4,5	C8	*
QR Code]Qx	0,1	D1	*
TLC39]A0		H0	*

郵便コード

バーコードシンボル	AIM ID	AIM ID修飾文字(x)	USDI	Code Mark
Australian Post]X0		P3	*
BPO]X0		P2	*
Canada Post]X0		P6	*
Dutch Post]X0		P4	*
Infomail]X0		P8	*
Japanese Post]X0		P5	*
Planet]X0		P1	*
Postnet]X0		P0	*
Sweden Post]X0		P7	*

第 8 章 設定とバーコードメニュー

設定方法

1. 本書のバーコードメニューを読み取る

本製品は本書のバーコードメニューを読み取ると、動作の設定を変更することができます。また、バーコードメニューに表示した*印は、出荷時の設定です。

- ・ **USB インターフェースの設定(p22~23) :**

設定開始→**各設定**→**設定終了**の順でバーコードメニューを読み取って下さい。

- ・ **本体の動作設定、データ転送設定、本体の動作設定、イメージャーの設定、バーコードの読み取り設定(p24~66) :**

設定開始と設定終了のメニュー読み取りは不要です。直接メニューを読み取って下さい。

2. 設定ソフトで作成したバーコードメニューを読み取る

設定ソフトを使うと、お客様ご自身でさらに詳しい設定（データの編集など、本書に記載が無い設定）のバーコードメニューを作成することができます。作成したバーコードメニューを本製品で読み取ると、動作の設定を変更することができます。

設定ソフトと設定ソフトの説明書は、ホームページでダウンロード提供しております。

設定ソフトのダウンロードページ

<http://www.a-poc.co.jp/dl2/>

ログイン ID とパスワードは、製品付属の「かんたんガイド」に表示しています。

出荷時の初期設定

次の「USB インターフェース以外の初期設定」を読み取ると、本書 p24~66 の設定を出荷時の初期設定に戻します(注)。

USB インターフェース以外の初期設定



- (注) ●USB インターフェースの設定(本書 p22~23)と USB パーチャル COM (p67)は初期設定に戻しません。USB インターフェースの初期設定は、本書 p22 を参照してください。
- 初期設定をすると QR code の読み取りは「禁止」になります(p56)。

USB インターフェースの設定

設定開始



設定終了



ご注意

●USB インターフェースの設定(p22~23)をした後は数秒待ってから操作を開始して下さい。スキャナの設定に数秒かかるため、すぐ読み取るとエラーブザーが鳴ります。

USB インターフェースの初期設定



- ・ USB インターフェースの設定(本書 p22~23)を出荷時の初期設定に戻します。
- ・ **設定開始**→**USB インターフェースの設定**の順で読み取って下さい。初期設定のみ設定終了は不要です。
- ・ USB バーチャル COM(p67)に設定している場合は、USB HID キーボードインターフェースに戻ります。

キーボードレイアウト

英語キーボード (*)



日本キーボード



Caps Lock

オート (*)



ALT+テンキー



●ALT+テンキーはシステムによっては使用できない場合があります。

電源オン時のメロディーブザーの設定

禁止



許可 (*)



●禁止設定後も電源が入ると短い音が鳴ります。

USB インターフェースの設定

設定開始



設定終了



ブザー音量



初期値:10 (単位:レベル)

次に数字(1~10)、セット、設定終了を読み取ります。

10 の設定は数字を 1→0 と読みます。

※無音の設定はありません。

キャラクタ間の遅延時間

1 文字間の転送時間の設定です。



初期値:0 (単位:msec)

次に数字(0~255)、セット、設定終了を読み取ります。

【例】設定開始→キャラクタ間の遅延時間→2→0 →セット→設定終了

データ間の遅延時間

1 データ間の転送時間の設定です。



初期値:0 (単位:10msec)

次に数字(0~255)、セット、設定終了を読み取ります。

【例】設定開始→データ間の遅延時間→5→0 →セット→設定終了

数値バーコードとセット

0



1



2



3



4



5



6



7



8



9



セット



データ転送設定

プリアンブル/ポストアンブル

データ転送のフォーマットは次の通りです。

←データの先頭

データの後尾→

プリアンブル	シンボル ID	読み取りデータ	ポストアンブル
--------	---------	---------	---------

プリアンブルの転送 – プリアンブルは読み取りデータの前に転送するキー、キャラクターです
なし (*)

**メモ**

プリアンブルを設定する場合は、設定ソフトをご使用下さい。

ポストアンブルの転送 – ポストアンブルは読み取りデータの前に転送するキー、キャラクターです

Enter (*)

CR



CR(0Dh) LF(0Ah)を転送します



CR(0Dh)のみを転送します

Tab

なし



HT(09h) を転送します



ポストアンブルを転送しません

メモ

ポストアンブルにその他を設定する場合は、設定ソフトをご使用下さい。

データ転送設定

シンボル ID

シンボル ID(AIM ID、USDI、Code Mark)の転送を許可すると、バーコードの種類を識別するための文字をデータの先頭に付加します。定義済みのシンボル ID の文字は第 7 章のシンボル ID 表(p19~20)を参照して下さい。

禁止 (*)



AIM ID の転送を許可



USDI の転送を許可



Code Mark の転送を許可

**AIM ID とは**

AIM(国際自動認識工業会)が策定した 3 桁のシンボル ID。1 桁目は]、2 桁目は英字、3 桁目は数字または英字 1 文字。

3 桁目は修飾文字で通常は 0 ですが、シンボルの変化形のときは 0 以外の文字になります。

USDI とは

ユーザー定義のシンボル ID (User defined symbology identifier)。出荷時は 2 桁の文字が設定済み。

Code Mark とは

もう 1 つのユーザー定義のシンボル ID。1 桁。一部のシンボルのみ定義済み。例外として EAN-8 のみデフォルト値が 2 桁 (FF)。

メモ

- ・ USDI、Code Mark ポストアンプルに任意の文字を設定する場合は、設定ソフトをご使用下さい。
- ・ GS1-128 は初期設定で AIM ID の]C1 を転送します。転送しない設定は p40 を参照して下さい。

本体の動作設定

トリガーモード

トリガーを押して読む、自動で読み取るなど読み取り方法の設定です。

コンティニューアス



常時点灯

レベル (*)



トリガー読み (初期設定)

パルス



トリガーを押し、2 秒後照明オフ

フラッシュ



点滅 かざすと読み取り

トグル



トリガーでオンオフ、読むと消灯

プレゼンテーション



自動読み 待機時 照明オフ
ハンドフリースタンド使用時
などに設定して下さい

本体の動作設定

トリガータイムアウト

トリガーモードがパルス、フラッシュ、オートスタンドのときに有効です。

トリガーで照明が点灯した後に、照明が点灯している時間の長さです。

2 秒 (*)

5 秒



読み取り後の消灯

トリガーモードがレベル、パルス、オートスタンドのときに有効です。

読み取ったあとに照明が消灯するかしないかの設定です。

禁止

許可(*)



本体の動作設定

エイマーモード(照準モード)

エイマーモードはトリガーモードがレベル、パルス、オートスタンドのときに有効です。許可にするとエイマー（照準の水平な赤色光）の点灯と読み込みのタイミングが別々になります。狭い範囲にシンボルが並んでいるときに目的のシンボルを個別に読み取りができます。

禁止 (*)

許可,1 回のトリガーでエイマー点灯と読み取り



トリガーを押し続けると遅れて読み取ります。

許可 , 1 回目のトリガーでエイマー点灯,

2 回目のトリガーで読み取り



エイマーモードの時間

エイマーモード許可,1 回のトリガーでエイマー点灯と読み取りのときの読み取るまでの時間設定。100msec = 0.1 秒。

100msec

200msec



500msec (*)

1200msec



本体の動作設定

定義済みのセキュリティレベル設定(誤読防止の設定)

中～高を設定すると、低品質なバーコードの読み取り誤りや、同じバーコードを間違っ
てよみとることを防止します。読み取り速度は遅くなります。

標準 (*)



デコード結果は自動でカウントしデータを転送する

同一バーコードを読み取るまでの時間は 300msec

異なるバーコードを読み取るまでの時間制御なし

中



連続して 2 つの同じデコード結果を得られたらデータを転送する

同一バーコードを読み取るまでの時間は 300msec

異なるバーコードを読み取るまでの時間は 10msec

高



連続して 4 つの同じデコード結果を得られたらデータを転送する

同一バーコードを読み取るまでの時間は 350msec

異なるバーコードを読み取るまでの時間は 30msec

本体の動作設定

任意のセキュリティレベル設定(誤読防止の設定)

デコード時の一致回数

設定した回数の連続した同じデコード結果を得られたらデータを送信します。

回数が多いと誤読は減りますが、読み取り速度は低下します。

自動でカウント (*)

2回



3回

4回



同一バーコードを読み取るまでの時間

時間を短く設定すると同じコードを再度読みやすくなりますが、もう一度同じコードを読み取ってしまいやすくなることに注意して下さい。

50msec

100msec



200msec

300msec (*)



600msec



本体の動作設定

センターデコーディングの使用

許可に設定するとスキヤナの視界を狭くします。出荷時は禁止です。許可に設定すると「センターデコーディングの範囲」で設定した範囲を読み取ります。

禁止(*)



許可



センターデコーディングの範囲

「センターデコーディングの使用」が許可に設定されたときに適用されます。

0% (*)



50%



スキヤナの視界の中心にシンボルが
あるときのみ読み取る

スキヤナの視界を半分にする

バーコードシーケンス (注)2013年10月下旬出荷分から対応

トリガー長押しで設定した数までバーコードを読み取り続けます。同じバーコードは2度読みしません。狭い範囲にある複数のバーコードを読む場合に便利です。すべて読むか、途中でトリガーを離すとエイマーは消灯します。

1 (*)



2



3



4



5



6



7



8



9



10



イメージャーの設定

定義済みのイメージャー設定

イメージャーとは読み取りセンサーユニットのことです。1Dコードとは1次元バーコード、2Dコードとは2次元バーコードの意味です。

1Dコードのみ読み取る



1次元エミュレーションモード

1Dコードと2Dコードを読み取る(*)



標準設定

1Dコードと2Dコードを読み取る(周囲が明るい)



直射日光が照射するような環境

1Dコードと2Dコード(光沢のある表面)



ラミネートシールなどのラベル

イメージャーの設定

任意のイメージャー設定

エイマーの点滅

エイマーとは水平な赤色の照準光です。

点滅する (自動で最適化) (*)



点滅しない、常時オン

**デコードモード**

2D イメージャー (*)



1D と 2D を読み取る

リニアイメージャーエミュレーション



1D のみ読み取る

1次元スキャナのようになります。

照明 LED

照明 LED とはスキャナの視界全体を照射する赤色光です。

常時オン (*)



照明 LED がフルパワーの明るさで点灯します。

パワーセーブモード



照明 LED の明るさを自動調整します。

イメージャーの設定

任意のイメージャー設定(続き)

照明レベル

数値を下げると照明 LED の明るさが抑えられますが、環境やバーコードシンボルの状態によっては読み取り率が低下します。明るさを抑えたい場合は、まず「照明 LED パワーセーブモード」(p33)を設定してみてください。必要があれば照明レベルを設定して下さい。

100% (*)



75%



50%



25%



20%



10%



0%



照明がオフになります。

バーコードの読み取り設定

すべてのシンボルを読み取り禁止



例えば、Code 39 と QR code のみを読み取り、ほかの種類はすべて読み取らないようにするには、「すべてのバーコードを読み取り禁止」を設定した後、Code 39、QR code の読み取りを「許可」に設定して下さい。

ご注意

- 「すべてのシンボルを読み取り禁止」を読み取ると、通常のバーコードをすべて読み取らなくなります。また、「USB インターフェースの設定(p22~23)」のバーコードメニューも読み取らなくなります。(Code39 を読み取り許可にすると設定できるようになります)
- 「すべてのシンボルを読み取り禁止」を設定した後は、初期設定、本体の動作設定、イメージャーの設定、バーコードの読み取り設定のバーコードメニューのみ読み取ります。

バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Codabar (NW7)

読み取り

禁止 (*)



許可



スタート/ストップキャラクタの転送

禁止 (*)



許可 A, B, C, D を転送する



許可 a, b, c, d を転送する



チェックデジットの使用 - 計算方式はモジュラス 16 です。

禁止 (*)



許可



チェックデジットの転送

禁止 (*)



許可



最短の読み取り桁数

1桁以上



4桁以上(*)



(注:スタート/ストップを含めて6桁以上)

バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Code 11

読み取り

禁止 (*)



許可



チェックデジットの桁数

1桁 (*)



2桁



チェックデジットの転送

禁止



許可 (*)



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Code 39

読み取り

禁止



許可 (*)



スタート/ストップキャラクタの転送

禁止 (*)



許可



データの前後に * を転送します

チェックデジットの使用 - 計算方式はモジュラス 43 です。

禁止 (*)



許可



チェックデジットの転送

禁止 (*)



許可



Full ASCII Code39 のフォーマット

禁止 (*)



許可



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Code 93 / Code 93i (Extend)

読み取り

禁止 (*)



許可



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Code 128 / GS1-128

Code 128 読み取り

禁止



許可 (*)



GS1-128 読み取り

禁止



許可 (*)



GS1-128 データ先頭に AIM ID]C1 を転送

禁止



許可 (*)



]C1 を転送しない

]C1 を転送する

GS1-128 可変長 AI 区切りの FNC1 の置換

GS (1Dh)に置換(*)



Null(00h) に置換



(注)USB キーボードインターフェースでは

USB キーボードインターフェースでは

区切りの FNC1 を F12 キーとして出力します。

区切りの FNC1 を出力しません。

- GS1-128 を読み取るとパソコンが勝手にウインドウを開いたりする場合は上記の「Null(00h)に置換」を設定して下さい。
- GS1-128 のデータ編集を行う場合、巻末付録「GS1 Databar 及び GS1-128 のデータ編集」p77 ~を参照して下さい。

バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

UPC-A

読み取り

禁止



許可 (*)



チェックデジットの転送

禁止



許可 (*)



ナンバーシステムの転送

禁止



許可 (*)



禁止は 12桁のうち 1桁目の 0 を転送しません。

UPC-A を EAN-13 に変換

禁止



許可 (*)



先頭に 0 を追加し 13桁で転送します。

バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

UPC-E

読み取り

禁止



許可 (*)



チェックデジットの転送

禁止



許可 (*)



ナンバーシステムの転送

禁止



許可 (*)



禁止は8桁のうち1桁目の0を転送しません。

UPC-E を UPC-A に変換

禁止 (*)



許可



UPC-E1 の読み取り

禁止 (*)



許可



UPC-E1 は1桁目が1のUPC-Eです。通常のUPC-Eは1桁目が0です。

バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

EAN-13 / JAN-13

読み取り

禁止



許可 (*)



チェックデジットの転送

禁止



許可 (*)



ISBN に変換

禁止 (*)



許可



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

EAN-8 / JAN-8

読み取り

禁止



許可 (*)



チェックデジットの転送

禁止



許可 (*)



EAN-8 を EAN-13 に変換

禁止 (*)



許可



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

UPC / EAN / JAN のオプション

UPC / EAN / JAN アドオンの要求

アドオン の要求なし (*)



アドオンの要求あり



下記のアドオン 2桁/5桁を許可にすると、要求なしでも

アドオンがあればアドオンを転送します。

アドオンの桁数

アドオン 2桁 - 禁止 (*)



アドオン 2桁 - 許可



アドオン 5桁 - 禁止 (*)



アドオン 5桁 - 許可



新雑誌コードを読む場合に設定します。

UPC / EAN / JAN を GTIN フォーマットに変換する

禁止 (*)



許可



先頭に 0 を追加し 14 桁に変換します。

バーコードの読み取り設定 - 1 次元バーコード

GS1 Databar (GS1 データバー) 旧称 RSS

GS1 DataBar Omni-directional(GS1 データバー標準型)読み取り

禁止 (*)



許可



Stacked(二層型)も許可になります

GS1 DataBar Limited(GS1 データバー限定型)読み取り

禁止 (*)



許可



GS1 DataBar Expanded(GS1 データバー拡張型)読み取り

禁止 (*)



許可



GS1 Databar(GS1 データバー)と Composite(合成シンボル)の一括メニュー

GS1 Databar すべて読み取り許可,
GS1 Composite CC-A/B 読み取り許可,
AIM ID 除去を禁止(先頭に]e0 を転送する)

GS1 Databar すべて読み取り許可,
GS1 Composite CC-A/B 読み取り許可,
AIM ID 除去を許可(先頭に]e0 を転送しない)



上記の設定は 3 種類の GS1 Databar すべて(Omini-directional、Limited、Expanded)と GS1 Composite CC-A/B(p47)を一括で読み取り許可に設定します。データの先頭に]e0 を転送するなら左側のメニューを、転送しないなら右側のメニューを設定して下さい。

- GS1-Databar 及び合成シンボルを読み取るとパソコンが勝手にウインドウを開いたりする場合は p12 「困ったときは」にある設定メニューを読み取って下さい。
- GS1-Databar、GS1 合成シンボルのデータ編集を行う場合、巻末付録「GS1 Databar 及び GS1-128 のデータ編集」 p77~を参照して下さい。

バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード(GS1 Databar/ UPC / EAN のオプション 2D)

GS1 Composite(GS1 合成シンボル、コンポジット)

GS1 Composite CC-A/B 読み取り

禁止 (*)



許可



許可にすると単独の MicroPDF は読み取りません

GS1 Composite CC-C 読み取り

禁止 (*)



許可



Composite(コンポジット/2次元コード)のリンク - UPC/EAN のみ有効

自動判別する (*)

常にリンク-UPC/EAN は Composite が必要



リンクしない-Compsite がなくても UPC/EAN 読む



Linear(リニア/1次元コード)のみ転送

禁止 (*)



許可



AIM ID の除去

禁止 (*)



許可



先頭にje0 を転送します

先頭にje0 を転送しません

バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Interleaved 2 of 5 (ITF)

読み取り

禁止 (*)



許可



チェックデジットの使用 – 計算方式はモジュラス 10/ウェイト 3 です。

禁止 (*)



許可



チェックデジットの転送

禁止 (*)



許可



最短の読み取り桁数

2桁以上



6桁以上(*)



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Matrix 2 of 5

読み取り

禁止 (*)



許可



スタート/ストップキャラクタの形式

レギュラー (*)



China Post



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Standard 2 of 5(Industrial 2 of 5 / Code 2 of 5)

読み取り

禁止 (*)



許可



フォーマット

Identicon (3 スタート/ストップ バー) (*)



Computer Identics (2 スタート/ストップ バー)



チェックデジットの使用

禁止 (*)



許可 (モジュラス 10)



チェックデジットの転送

禁止 (*)



許可



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

MSI

読み取り

禁止 (*)



許可



チェックデジットのタイプ

モジュラス 10 (*)



ダブルモジュラス 10(モジュラス 10/10)



チェックデジットの転送

禁止



許可 (*)



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Plessey

読み取り

禁止 (*)



許可



チェックデジットの転送

禁止



許可 (*)



バーコードの読み取り設定 - 1次元バーコード

Telepen

読み取り

禁止 (*)



許可



フォーマット

アスキー/Ascii (*)



数字



バーコードの読み取り設定 - 2次元バーコード

Aztec

読み取り

禁止 (*)



許可



Codablock A

読み取り

禁止 (*)



許可



Codablock F

読み取り

禁止 (*)



許可



バーコードの読み取り設定 - 2次元バーコード

Data Matrix

読み取り

禁止



許可(*)



(注) Data Matrix について

白黒反転の Data matrix も読み取ります。

Maxi Code

読み取り

禁止 (*)



許可



PDF417 / Micro PDF417

PDF417 読み取り

禁止



許可 (*)



Micro PDF417 読み取り

禁止 (*)



許可



バーコードの読み取り設定 - 2次元バーコード

QR Code

読み取り (モデル 2 の読み取り)

禁止 ※以前は禁止が初期値



許可 (*) ※2016年3月下旬より



モデル 1 読み取り (モデル 1 は旧式の QR です)

禁止 (*)



許可



マイクロ

Micro QR 読み取り

禁止 (*)



許可 (出荷時に許可に設定しています)



連結 QR 読み取り (許可にすると連結 QR を読み込みます)

※2016年3月下旬からの製品は、トリガーを押したまま、1個ずつ連結 QR にエイマービームを照射して読み取って下さい。

以前の製品は連結 QR 全てがビームに入るようにして一括で読み取って下さい。

※連結 QR の読み取りブザーの鳴り方はマルチコードの読み取りブザー(p65)で変更できます。

禁止 (*)



許可



白黒反転 QR 読み取り

※2016年3月下旬から製品は、設定不要です。自動で通常色・白黒反転とも読みます。

※下記メニューは以前の製品のみで使用できます。

通常色の QR のみ読み取る (*)



白黒反転の QR のみ読み取る



自動判別 - 通常色と白黒反転を読み取る

**ご注意 QR Code について**

- 2016年3月下旬出荷分より、QR Code に関する設定に変更があります (上記※印)
- 日本語データ(漢字かな)は出力しません。日本語を出力するにはお客様にてシリアル通信対応システムや開発が必要です。また本製品を USB バーチャル COM に設定する必要があります。

バーコードの読み取り設定 - 2次元バーコード

TLC39 (TCIF Linked Code 39)

読み取り

禁止 (*)



許可



Linear(1次元バーコード)のみ転送

禁止 (*)



許可



バーコードの読み取り設定 - 郵便コード

Japan Post (日本の郵便カスタマバーコード)

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可



チェックデジット転送 禁止



チェックデジット転送 許可 (*)



バーコードの読み取り設定 - 郵便コード

Australian Post

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可



BPO (British Post Office / BPO 4-State Code / RM4SCC)

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可



チェックデジット転送 禁止



チェックデジット転送 許可 (*)



Canada Post (CPC 4-State Barcode / Post Bar)

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可



Dutch Post (KIX 4-State Barcode)

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可



バーコードの読み取り設定 - 郵便コード

Infomail (Infomail Barcode A)

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可

**Planet**

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可



チェックデジット転送 禁止



チェックデジット転送 許可 (*)

**Postnet**

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可



チェックデジット転送 禁止



チェックデジット転送 許可 (*)

**Sweden Post**

読み取り 禁止 (*)



読み取り 許可



マルチコードの設定

マルチコードの読み取り

「禁止」の設定(出荷時の設定)はバーコードを1個ずつ読み取る通常の動作です。

「許可」と「許可 - 排他」の設定は、スキャナの視界に入った”マルチコード(複数のバーコード)”を一括で読み取ります。

禁止 (*)



許可



許可 - 排他(同一コードタイプ読取禁止)



「許可」について：

- ・ データはスキャナの視界に入った順番で転送します。すべてのバーコードをマルチコードとして認識するので、1個のバーコードを読み取らなくなります。
- ・ 別途、バーコードの条件(バーコードタイプ、桁数、キャラクタ)を設定することで、データを希望する順番で転送することができます。
- ・ 条件を設定すると、条件外の同一のコードタイプの1個のバーコードを読み取ることができます。

「許可 - 排他」について：

- ・ 別途、バーコードの条件(バーコードタイプ、桁数、キャラクタ)を設定することで、データを希望する順番で転送することができます。
- ・ 設定した条件外でも同一のバーコードタイプを読み取らなくなります。

(例) 条件にバーコードタイプ Code39、桁数を5桁と10桁と設定すると、一括読み取り時は5桁と10桁の順番でデータを転送します。「許可」を設定すると5桁と10桁以外の桁数の1個のCode39は読み取りできます。「許可 - 排他」を設定すると5桁と10桁以外の桁数の1個のCode39は読み取りできません。

メモ

条件は設定ソフトでバーコードメニューを作成する必要があります。

マルチコードの設定

マルチコードの数

マルチコードの読み取りを「許可」または「許可 - 排他」に設定した場合に、一括で読み取るバーコードの数の設定です。設定の範囲は最小2個(初期値)から最大8個までです。

メモ

バーコードの寸法によりますが、静止したスキャナの視界に一度に入るバーコードの数は2~3個です。4個以上の場合はトリガーを押しながら、スキャナを動かしてバーコードを1個ずつ照射して読み取って下さい。

2(*)



3



4



5



6



7



8



マルチコードの設定

マルチコードのセパレータ

マルチコードの読み取りで転送した、複数のバーコードデータ間のキャラクタを設定します。

<> (*)

, コンマ



Tab (HT)

Enter(CR)



スペース

なし

**メモ**

たとえば2個のバーコードデータ「123456」と「ABCDEF」をマルチコードとして一括で読み取ると「123456<>ABCDEF」と転送します。<>を他のキャラクタに変更したい場合に、上記のメニューで設定して下さい。また、設定ソフトで任意の文字に設定するメニューを作成することもできます。

マルチコードの設定

不完全なデータ転送

「許可」を設定すると、すべての数のマルチコードを認識していなくてもデータを送信します。なお、データ送信時にセパレータも送信します。

禁止 (*)



許可

**不完全なデータ転送のタイムアウト**

「不完全なデータ転送」を許可に設定したときの、すべてのマルチコードを認識するまでの待ち時間の設定です。初期値は 0msec(ミリ秒)です。

0msec (*)



500msec



1000msec



1500msec



2000msec

**メモ**

シンボル ID(p25)で「USDI の転送を許可」を設定すると、マルチコードの読み取り時は次の文字を先頭に転送します。

- ・ UDM0・・・完全なデータ転送をしたとき(すべてのバーコードを読み取った時)
- ・ UDM1・・・不完全なデータ転送をしたとき(一部のバーコードしか読み取らなかった時)

マルチコードの設定

マルチコードの読み取りブザー

「禁止」はスキャナがマルチコードをすべて読み込めたときに、通常の読み取りブザー（短い1回の音）のみを鳴らします。

「許可」はスキャナがマルチコードを1つ読み込むごとに、マルチコードのブザー（高低高低、ピロピロ）を鳴らします。スキャナがマルチコードをすべて読み込めたときに、通常の読み取りブザー（短い1回の音、ピ）を鳴らします。ただし、スキャナの視界にすべてのマルチコードが入り込み、同時に認識できた場合、通常の読み取りブザーのみが鳴ります。

なお、読み取りデータはマルチコードを最後まで認識できたときに出力します。

禁止 ※以前は禁止が初期値

許可(*) ※2016年3月下旬より

**メモ**

マルチコードの読み取りブザーの設定は、構造的接続バーコード（Structured append）の読み取りにも適用されます。具体的には、連結QR(p56)などにも適用されます。

マルチコードの設定

マルチコードの設定例

書籍の 2 段バーコードの読み取り

次のメニューを読み取って設定すると、書籍の 2 段バーコード(JAN13 1 段目の先頭が 97、2 段目の先頭が 19)を一括で読み取ります。また、1 個の JAN13(先頭が 45、49 など)も読み取ります。セパレータは<>です。セパレータを変更したい場合は「マルチコードのセパレータ」(p63)で設定して下さい。

(注)先頭が 97 または 19 の 1 個の JAN13 は読み取らなくなります。



設定内容

マルチコード 許可…単一の JAN13 も読み取る

マルチコードの数…2 個

バーコード 1…バーコードタイプ「EAN13(JAN13)」、マスク「97????????????」

バーコード 2…バーコードタイプ「EAN13(JAN13)」、マスク「19????????????」

セパレータ…<>(初期設定)

マルチコードの例

書籍の 2 段バーコード



9781234567897



1921234567895

第 9 章 USB バーチャル COM の設定

【ご注意】

- ・ USB バーチャル COM インターフェースは技術者向けの通信方式です。シリアル通信の技術をお持ちの方が設定を行って下さい。
- ・ すべての機器との動作を保証するものではありませんのでご了承下さい。

【ご案内】

最新版の USB バーチャル COM ドライバをホームページからダウンロードして下さい。最新版のドライバでは Windows 8 64bit でのパソコンの設定変更（ドライバー署名の強制を無効にする）が不要になりました。（2014 年 1 月）

1.動作条件

対応機種：USB を搭載した PC/AT 互換機

動作確認 OS：Windows 10（※注 1）、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、Windows XP

その他：ドライバは Windows の管理者権限(Administrator)でインストールして下さい

※注 1：Windows 10 について

Windows 10 で、弊社取扱のシリアル通信キーボード変換ソフトと、USB バーチャル COM に設定した本製品を組み合わせる場合、Windows 10 バージョン 1607 以上に更新して下さい。バージョン 1511 以前は動作しません。

2.特徴

スキャナを USB バーチャル COM インターフェースに設定すると、スキャナはコンピュータの仮想 COM ポートに読み取りデータを送信します。

3.ドライバ

スキャナを USB バーチャル COM で動作させるには製品専用のドライバ[C0801b.inf]と [c0801b.cat]が必要です。ドライバは弊社ホームページからダウンロードし、パソコンのお好きな場所に保存してください。

ドライバのダウンロードページ

<http://www.a-poc.co.jp/dl2/>

ログイン ID とパスワードの記載場所→製品付属の「かんたんガイド」に表示

4.USBバーチャルCOMの設定とドライバのインストール

◆スキャナをUSBバーチャルCOMに設定するには

- 1) p67「3.ドライバ」を参照し、ドライバをパソコンに保存して下さい。
- 2) このページの下にある **設定開始** → **RS232** → **USB COM 許可** → **設定終了** を読み取って下さい。
- 3) パソコンが[新しいデバイスの追加ウィザード]を開始します。ウィザードを進めてください。ドライバ[C0801b.inf] と [c0801b.cat]を保存したフォルダを指定し、インストールして下さい。（※注2、注3、注4）

※注2 : Windows 10 は、スキャナの設定後、自動的に OS が提供する USB シリアルデバイスのドライバをインストールします。OS 提供のドライバでも動作します。（デバイスマネージャからドライバの更新を行い、本製品用のドライバに更新できます）

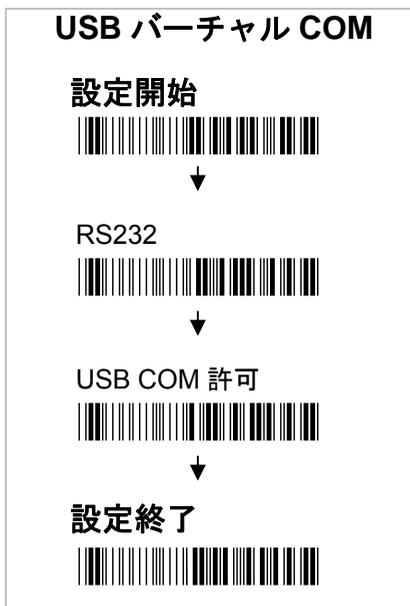
※注3 : Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7 で「このデバイスソフトウェアをインストールしますか?」と表示したら[インストール]を選択して下さい。



※注4 : Windows XP で「Windows のロゴテストに合格していません」という画面が出たら問題はありませので[続行]を選択して下さい。

◆スキャナを出荷時の USB キーボードインターフェースに設定するには

設定開始 → **USB HID キーボード** → **USB COM 禁止** → **設定終了** を読み取って下さい。



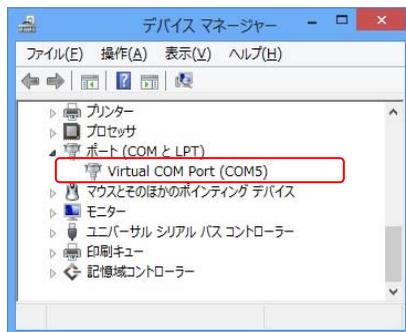
5.COMポートの確認

パソコンのデバイスマネージャを開いてスキャナの COM 番号を確認してください。

Windows 10

デスクトップ左下のスタートアイコンを右クリック-[デバイスマネージャ]

※注 5 : Windows 10 は自動的に USB シリアルデバイスとしてインストールされます。USB シリアルデバイスを右クリック→ドライバソフトウェアの更新→本製品のドライバに変更できます。



Windows 8.1、Windows 8

[スタート画面]から[デスクトップ]に切り替える
-[チャーム]を表示する-[設定]-[コントロールパネル]-[ハードウェアとサウンド]-[デバイスとプリンター]-[デバイスマネージャ]-[ポート (COM と LPT)]-[Virtual COM Port(COMx)]

Windows 7

[スタート]-[コンピューター]を右クリック-[プロパティ]-[デバイスマネージャ]-[ポート (COM と LPT)]-[Virtual COM Port(COMx)]

Windows XP

[スタート]-[マイコンピュータ]を右クリック-[プロパティ]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]-[ポート (COM と LPT)]-[Virtual COM Port(COMx)]

◆デバイスマネージャに[ほかのデバイス]、[不明なデバイス]と表示がある場合

→ドライバのインストールに失敗しています。

[ほかのデバイス]、[不明なデバイス]内の[C-200 Virtual COM Port]を右クリック-[ドライバーソフトウェアの更新]-[一覧または特定の場所からインストールする]-パソコンの中から、p67 で保存したドライバの場所を指定して画面をすすめてインストールして下さい。



6.スキャナの使用開始

バーコードデータを入力するアプリケーションの COM ポートに、デバイスマネージャで確認したスキャナの COM 番号を設定してください。COM を設定したら、スキャナでバーコードを読み取りテストして下さい。正常に動作したら、運用を開始してください。

◆COM ポートの設定方法はアプリケーションによって異なります。アプリケーションについてはお客様のシステム担当者にご相談下さい。

7. スキャナの取り外し方法 **重要**

USB バーチャル COM に設定したスキャナをパソコンから取り外す場合は、先にパソコンの「COM」をクローズ（切断）し、シリアル通信を切断してください。COM をオープン（接続）したままでスキャナを取り外さないでください。

COM がオープン（接続）したままでスキャナを取り外すと、パソコンやアプリケーションのエラーの原因となります。COM をクローズする方法はアプリケーションに依存しますのでお客様のシステム担当者にお問い合わせください。

第10章 サンプルバーコード

1次元バーコード

(注)印刷環境によって読み取りできない場合があります。

Codabar (NW7) (出荷時は読み取り禁止)



Code 39



Code 128



GS1-128



(01)14589012345673(17)131231(30)10(10)ABC

※GS1 128 は巻末付録「GS1 Databar 及び GS1-128 のデータ編集」でデータを編集することができます。

1次元バーコード(続き)

(注)印刷環境によって読み取りできない場合があります。

UPC-A



UPC-E



JAN-13(EAN-13)



JAN-8(EAN-8)



Interleaved 2 of 5 (ITF) (出荷時は読み取り禁止)



1次元バーコード(続き)

(注)印刷環境によって読み取りできない場合があります。

GS1 Databar Omni directional (出荷時は読み取り禁止)



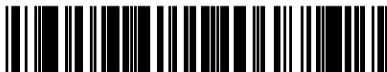
(01)01001234567894

GS1 Databar Limited (出荷時は読み取り禁止)



(01)04912345678904

GS1 Databar Expanded (出荷時は読み取り禁止)



(01)04512345678906(17)100131

GS1 Databar Limited Composite (CC-A) (出荷時は読み取り禁止)

(17)131225(10)ABCDE



(01)04512345678906

※このタイプのバーコードは巻末付録「GS1 Databar 及び GS1-128 のデータ編集」でデータを編集することができます。

2次元バーコード / 郵便コード

(注)印刷環境によって読み取りできない場合があります。

QR Code モデル 2 (出荷時は読み取り禁止)



データ : QR code model 2

Data Matrix (ECC200)



データ : Data Matrix ECC200

PDF417



データ : PDF417 sample code

Japan Post (郵便カスタマバーコード) (出荷時は読み取り禁止)



データ : 23000514-36-1

※最終桁に余分な文字が出るときは「チェックデジット 禁止」を設定して下さい。

第 11 章 保証と修理

■保証について

本製品には保証書が添付されていません。ただし、本製品に表示している製造番号（シリアルナンバー、S/N）によって保証期間を管理し、保証規定に基づく保証対象製品としております。

■保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

■保証期間

お買い上げ日から 1 年間

■無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
2. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
3. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
4. お客様が、当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
5. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
6. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
7. 消耗品(ケーブル、電池)は無償保証の対象外のため有償交換となります。
8. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

■保証範囲

- ・保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。
- ・修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。
- ・保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

●修理について

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができているかをご確認ください。

症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。

修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

●修理依頼・製品の送付先について

修理をご依頼になる場合は、まず弊社にご相談ください。

●修理依頼書の入手先

弊社ホームページからダウンロードしてください。

お問い合わせ先

製品についてご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

株式会社エイポック

ホームページ <http://www.a-poc.co.jp/>

メール info_mail@a-poc.co.jp

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央 4-36-1 ナイス第 2 ビル 5F

電話 045-508-5201 FAX 045-508-5202

付録 A GS1 Databar(GS1 データバー)及び GS1-128 の編集 対象バーコードタイプ

読み取るバーコードが次の表に示すデータ形式のとき、本書のメニューで編集できます。

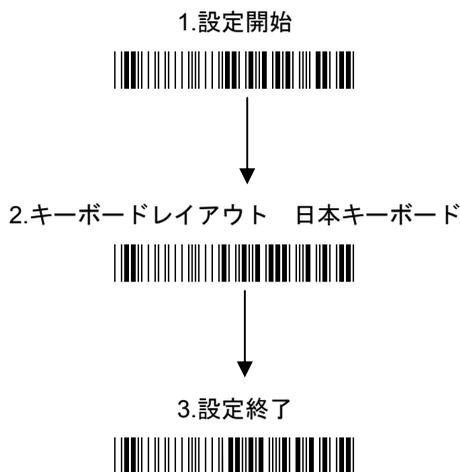
コードタイプ	データ形式
GS1 データバー限定型	(01)14 桁(17)6 桁(10)可変長
合成シンボル CC-A、	(01)14 桁(17)6 桁(21)可変長
GS1 データバー二層型	(01)14 桁(17)6 桁(21)可変長(91)可変長
合成シンボル CC-A	(01)14 桁(17)6 桁(21)可変長(91)可変長(92)可変長
	(01)14 桁(7003)10 桁(21)可変長(91)可変長(92)可変長
GS1 データバー二層型	(01)14 桁
GS1 データバー限定型	(01)14 桁
GS1-128	(01)14 桁
	(01)14 桁(17)6 桁(10)可変長
	(01)14 桁(17)6 桁(10)可変長(30)可変長
	(01)14 桁(17)6 桁(21)可変長
	(01)14 桁(17)6 桁(21)可変長(30)可変長
	(01)14 桁(17)6 桁(30)可変長(10)可変長
	(01)14 桁(17)6 桁(30)可変長(21)可変長
	※(17)6 桁の代わりに(7003)10 桁の場合も対応します

- ・ カッコ付きの文字は AI（アプリケーション識別子、Application Identifier）です。
- ・ 白黒反転の GS1 データバーは規格外の為読み取りません。（反転に見えても、バーが黒、スペースが白のパターンは読み取ります）
- ・ 上記以外のデータ形式への対応をご希望の場合、弊社にご相談下さい。

編集設定の手順

1.GS1 の編集をはじめて設定するときは、次の設定メニュー1～3 を読み取って下さい。

この設定は、一度設定したらその後は再設定する必要はありません。



(設定終了したら、5 秒ほどお待ち下さい。すぐ次に進むとエラー音が鳴ります)

2.次のページから掲載している、必要な編集の設定メニューを読み取って下さい。

編集内容によっては 2 通りの設定をご用意しております。

- ・ AI(7003)をお使いで無ければ、2 通りのどちらの設定でも動作します。
- ・ 実際のバーコードでお試しいただき、正しく動作する方をお使い下さい。

メモ：初期化のまま GS1 バーコードを読むと、データによってはパソコンが勝手にウィンドウを開く場合があります。編集を設定すると正しく動作します。詳細は p12、p40 を参照して下さい。

AIにカッコを付ける ※(7003)にFNC1あり

データ例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

ご案内 正しく入力しない場合は次項の「(7003)にFNC1なし」を設定して下さい。

1～5を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.



3.



4.



5.



備考：シナリオ 1～6 使用

AIにカッコを付ける ※(7003)に FNC1なし

データ例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

ご案内 正しく入力しない場合は前項の「(7003)に FNC1 あり」を設定して下さい。

1～5 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.



3.



4.



5.



備考：シナリオ 1～6 使用

AI ごとにタブキー (Tab) で区切る ※(7003)に FNC1 あり

データ例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 14512345678903 Tab131031Tab 100Tab ABCDE ※AI は削除します。**ご案内** 正しく入力しない場合は次項の「(7003)に FNC1 なし」を設定して下さい。

商品コードのみの GS1 データバー、GS1-128 は AI(01)を削除します。

1~5 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.



3.



4.



5.



備考：シナリオ 1~6 使用

AI ごとにタブキー (Tab) で区切る ※(7003)に FNC1 なし

データ例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 14512345678903 Tab131031 Tab 100 Tab ABCDE ※AI は削除します。**ご案内** 正しく入力しない場合は前項の「(7003)に FNC1 あり」を設定して下さい。

商品コードのみの GS1 データバー、GS1-128 は AI(01)を削除します。

1～5 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.



3.



4.



5.



備考：シナリオ 1～6 使用

AI ごとにスペース(SP)で区切る ※(7003)に FNC1 あり

データ例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 14512345678903 SP131031SP 100SP ABCDE ※AI は削除します。**ご案内** 正しく入力しない場合は次項の「(7003)に FNC1 なし」を設定して下さい。

商品コードのみの GS1 データバー、GS1-128 は AI(01)を削除します。

1～5 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.



3.



4.



5.



備考：シナリオ 1～6 使用

AI ごとにスペース(SP)で区切る ※(7003)に FNC1 なし

データ例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 14512345678903 SP131031SP 100SP ABCDE ※AI は削除します。**ご案内** 正しく入力しない場合は前項の「(7003)に FNC1 あり」を設定して下さい。

商品コードのみの GS1 データバー、GS1-128 は AI(01)を削除します。

1～5 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.



3.



4.



5.



備考：シナリオ 1～6 使用

AI ごとにコンマ(,)で区切る ※(7003)に FNC1 あり

データ例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 14512345678903 [FNC1]131031 [FNC1]100 [FNC1]ABCDE ※AI は削除します。

ご案内 正しく入力しない場合は次項の「(7003)に FNC1 なし」を設定して下さい。

商品コードのみの GS1 データバー、GS1-128 は AI(01)を削除します。

1~5 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.



3.



4.



5.



備考：シナリオ 1~6 使用

AI ごとにコンマ(,)で区切る ※(7003)に FNC1 なし

データ例 (01)14512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 14512345678903 []131031 []100 []ABCDE ※AI は削除します。

ご案内 正しく入力しない場合は前項の「(7003)に FNC1 あり」を設定して下さい。

商品コードのみの GS1 データバー、GS1-128 は AI(01)を削除します。

1~5 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.



3.



4.



5.



備考：シナリオ 1~6 使用

AI(01) 商品コードを抽出する

データ例 (01)04512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

1～2 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2. 下記は3つのうち、どれか1つを読み取ってください。

14 桁で抽出する

出力例 04512345678903



13 桁で抽出する (インジケータ無し)

出力例 4512345678903



12 桁で抽出する (インジケータ無し、チェックデジット無し)

出力例 451234567890



備考：シナリオ 1～4 使用

AI(10) 製造記号[ロット]、AI(21) 製造番号[シリアル]を抽出する

データ例 (01)04512345678903(17)131031(30)100(10)ABCDE

出力例 ABCDE

1~3 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2.

3. 下記は3つのうち、**どれか1つ**を読み取ってください。商品コードのみのGS1 データバー、GS1-128 を読み取るときの設定です。

商品コードのみの GS1 は 14 桁で抽出する

出力例 04512345678903



商品コードのみの GS1 は 13 桁で抽出する

出力例 4512345678903



商品コードのみの GS1 は 12 桁で抽出する

出力例 451234567890



備考：シナリオ 1~7 使用

イメージャーの設定

GS1 データバー、GS1 合成シンボル、GS1-128、そのほか1次元バーコード、PDF417のようなリニアバーコードのみ読み取るなら、お好みで「リニアイメージャーエミュレーション」の設定をお使い下さい。

2D イメージャー(*)



出荷時の設定です。下記項目を一括設定。

デコードモード:2D

照明レベル:100%

エイマー点滅:許可

リニアイメージャーエミュレーション



下記項目を一括設定。

デコードモード:リニアイメージャー

照明レベル:0%

エイマー点滅:禁止

リニアイメージャーエミュレーションについて

- スキャナのトリガーを押したとき、1次元バーコードスキャナのように、水平の赤い照準(エイマー)のみ点灯します。
- マトリックス型2次元バーコード例えばQRコード、Datamatrixなどは読み取らなくなります。

付録 B JIS X0515 (ISO 15394) 出荷、輸送及び荷受用ラベルのための一次元シンボル及び二次元シンボルの編集

対象バーコードタイプ

読み取るバーコードが次の表に示すデータ形式のとき、本書のメニューで編集できます。

コードタイプ	データ形式
すべてのコードタイプ (Data Matrix、QR など) ※ただし PDF417 を除く	[]><RS>データ<GS>データ<GS>データ…<RS><EOT>

メモ：初期化のまま JIS X 0515 のバーコードを読むと、パソコンが勝手にウインドウを開く場合があります。編集を設定すると正しく動作します。詳細は p12、p40 を参照して下さい。

参考 1 2次元コード、バーコードが JIS X0515 (ISO 15394)であるかを確認する方法

1. 次のページの設定メニュー **設定開始** → **日本キーボード** → **設定終了** を読み取り、設定して下さい。
2. パソコンのメモ帳など立ち上げて、対象の 2次元コード、バーコードを読み取って下さい。
3. 最初の文字が []> の場合、その 2次元コード、バーコードは JIS X0515 (ISO 15394) に基づくデータ形式です。

(参考としての確認方法です。正確な情報はバーコードの発行元にご確認下さい)

参考 2

- ・ 出荷、輸送及び荷受用ラベルのための一次元シンボル及び二次元シンボルとは、「受渡当事者間でデータを伝えるために、輸送単位に貼付する一次元シンボル及び二次元シンボルを含むラベルを設計するときの、最小限の必要事項」を定めた工業規格です。(JIS X0515 から引用)
- ・ データ先頭は []><RS>、データ後尾は <RS><EOT> です。データは意味ごとに <GS> で区切ります。<RS>、<GS>、<EOT> は制御文字の為、パソコンに表示しません。
- ・ この編集設定は「JIS X0516 (ISO 22742) 品包装用 1次元シンボル及び 2次元シンボル出荷」に準拠した構文のバーコードにも使用できます。
- ・ データの内容や意味については発行元にご確認下さい。

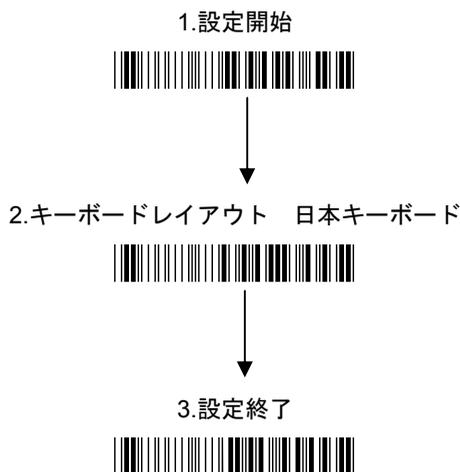
ご案内

- ・ 本書にない編集設定をご希望の場合、弊社にご相談下さい。
(他の区切り文字を設定する、指定した箇所のデータを抽出する、など)
- ・ コードタイプが PDF417 の場合、弊社にご相談下さい。

編集設定の手順

1.JIS X 0515 の編集をはじめて設定するときは次の設定メニュー1~3 を読み取って下さい。

この設定は、一度設定したらその後は再設定する必要はありません。



(設定終了したら、5秒ほどお待ち下さい。すぐ次に進むとエラー音が鳴ります)

2.次のページから掲載している、必要な編集の設定メニューを読み取って下さい。

JIS X0515(ISO 15394)のデータ間の設定

1～3 を読み取って下さい

1. (USB インターフェース以外の初期設定、NW7,ITF,QR,MicroQR を読取許可)



2. (シナリオ 1 許可、すべてのコード、[])><RS>*)



3. 選択して下さい

データをコンマ,で区切る



データをスペースで区切る



データをタブキー(Tab)で区切る



データを区切らない



備考 : <RS><GS>置換、最終 2 桁(<RS><EOT>)削除